

百二月

三十三

牛込白河河濱

池田

池田

池田

池田

池田

右河濱は後河原中在牛込一志言八拾五年祀以若  
河濱地古く至不々或を在りて一々後若書と云来  
たて三代治りて其地を止当竹巻内用一人志同り  
何事と云ふか一々一人平の由るあまると自身  
屋敷内一米畚立又雨天々一帝招たり持る  
空腹水とりて神佛と信り候り且七夜果位より

白濁や始りて其地を治りて其地を招も其地を治りて  
其地を治りて其地を治りて其地を治りて其地を治りて

二日

百二月四日

室町中下女七番三傳地信也其地を治りて其地を治りて  
其地を治りて其地を治りて其地を治りて其地を治りて  
其地を治りて其地を治りて其地を治りて其地を治りて  
其地を治りて其地を治りて其地を治りて其地を治りて  
其地を治りて其地を治りて其地を治りて其地を治りて  
其地を治りて其地を治りて其地を治りて其地を治りて  
其地を治りて其地を治りて其地を治りて其地を治りて  
其地を治りて其地を治りて其地を治りて其地を治りて